

校長メッセージ 講話より N01

平成29年5月2日

題「よい言葉を使う。同じ言葉でも言い方を考えて使う。」

【講話のねらい】

言葉にはその言葉のもつイメージがあること。言い方の違いで同じ言葉でも伝わる内容が違うこと。他人の嫌がる言葉、悪口は、自分で気をつければ言わなくすることができる。

【講話の概略】

1 文字は、それ自体にイメージがあることに気づく。

今日のお話ですが、はじめに皆さんにクイズを出したいと思います。まずこの字ですが何と読みますか。そう、「愛」と読みますね。この文字は「愛」という字ですね。この「愛」ですが、この「愛」という文字から浮かぶことはどんなことでしょうか。それをイメージとも言いますが、「愛」のもつイメージを思い浮かべてください。

2 同じ書体で「愛」と書いた色の違う三枚の紙をもとにその感じ方の違いを知る。

この「愛」という文字を同じ書き方でピンクとブルーの紙にも書いてみました。さてどの色が「愛」という文字に合うと思いましたか。思うものに手を上げる。白、ピンク、ブルー、一番多かったのはピンクに書いた「愛」でしたね。なぜでしょうね。

3 書体の違う白い紙に書いた2枚の「愛」の文字を示し、その感じ方の違いに気づく。

今度はみんな白い紙ですが、書き方を変えています。では、これらの文字をピンクの紙に書くとしたらどっちの「愛」を選びますか、細い文字を選ぶ。太い文字を選ぶ。・・・太い文字を選ぶ児童が多いと思われる。同じ文字をブルーの紙に書くとしたらどうでしょうか。・・・今度は細い方を選ぶ児童が多いと思われる。

4 3つのことをしてどんなことが分かったか、どんなことを感じたか振り返る。

どんなことが分かりましたか。また、どんなことを感じましたか。一つは、言葉にはその言葉のもつイメージがあると。「愛」という言葉には、柔らかな「ほんわり」とした感じや、温かい感じがあること。「愛」を表す色は、ピンクと答える人が多いです。それからもう一つは、同じ文字でも書き方で、違う感じを受けるといことです。細い「愛」は、すっきりした感じを、太い「愛」は、柔らかな感じを受けます。

5 言葉には、独自のイメージがあること、同じ言葉でも書き方で伝わり方が変わることを知る。

イメージする力、感じる力は、人間が、進化の中で発達させてきた力です。そして、人間だけが言葉を使えます。だから、皆さんにも言葉を大切にしてほしいと思うのです。

6 言葉には、いい言葉と悪い言葉があるが、いい言葉を使って生活することを理解する。

人を嫌な思いにさせる言葉、いじわるな言葉、馬鹿にするような言葉、悪口などは、自分で気をつけて言わないようにしましょうと思えば言わないようにできます。皆さんの口は、「悪口をいうためにあるわけではありません。」仲間とうまく生活するために、必要なことを話したり、自分の気持ちを周りに伝えたりするためにあります。そうやって人間は進化してきました。だから、人を苛める言葉や悪口を言う人は、心がまだ成長していない人だと言えます。そんな人には、悪い言葉を言わない人に早く成長してほしいと思います。

7 例え言葉が正しくとも言い方や伝え方で、相手に伝わり方が違ってくことを知り、言葉を発する時に、言い方に気をつけなければならないことが分かる。

例えば、「いいよ」という時、同じ「いいよ」でも言い方で考える。どうでも「いいよ」どっちでも「いいよ」しても「いいよ」しなくて「いいよ」とっても「いいよ」同じ「いいよ」

では、校長先生がちょっとやってみますので、どの「いいよ」か、当ててください。

①しなくて「いいよ」②とても「いいよ」③どっちでも「いいよ」ということで、言う言葉は同じでも、その言い方で、相手を嫌な思いにさせたり、それで喧嘩になったりします。「そんな言い方しなくてもいいのにな。」などと思ったことは？ だとしたら自分は、「そんな言い方をしない人」になってほしいなと思います。

8 まとめ 今日のお話は、言葉を大切に、よい言葉を使いましょう。ということと、同じ言葉でも、言い方で伝わるのが違うので、言い方にも気をつけましょう。というお話でした。